

新型コロナウイルス感染症予防接種について(令和7年度)

(1)新型コロナウイルス感染症とは

潜伏期間は、オミクロン株以降はほとんどが2～3日と短くなっています。感染経路は、新型コロナウイルスに感染した人の咳、くしゃみ、会話等の時に排出されるウイルスを含む飛沫による感染が中心で、閉鎖空間でのエアロゾル(飛沫よりも小さな水分を含んだ粒子)感染もあります。接触感染もあり得ますが、頻度は低いです。呼吸器感染症のため、症状は発熱・咽頭痛・咳などが中心です。高齢者での重症化率、致死率は高くなっています。

(2)予防接種の効果

ワクチン接種には、発症予防や重症化(入院)予防の効果があることが国内外の複数の報告で確認されています。なお、既感染者であっても再感染することはまれではありません。また、ワクチン接種による追加の発症予防効果が得られることも確認されています。さらに、いずれの年齢群においても、重症化(入院)予防効果は発症予防効果より高いことが確認されています。

(3)ワクチンの特徴

令和7年秋冬の定期接種で使用するワクチンは、1価のLP.8.1対応ワクチン、1価のXEC対応ワクチンです。

(4)接種できない場合

①37.5℃以上の発熱がある。②重篤な急性疾患にかかっている。③過去に新型コロナウイルス感染症予防接種でアナフィラキシー(重篤なアレルギー反応)など重度の過敏症(※)の既往のある方。(※ アナフィラキシーや全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状)④その他、予防接種を行うには不適当な状態にある方。

(5)副反応

接種後に接種部位の痛みや倦怠感、頭痛、発熱等、様々な症状が確認されていますが、ほとんどは軽度又は中等度で、現時点で得られている情報からは、安全性に重大な懸念は認められていないと判断されています。また、年長者である方が副反応出現率は低いともされています。なお、国内での検討では、若年男性を中心に心筋炎、心膜炎が報告されています。

また、国内において重篤な副反応としてアナフィラキシー(重篤なアレルギー症状)が報告されており、接種後30分はその場で健康観察をすることや接種後数日の間に胸痛、動悸、息切れ、むくみなどの症状があった場合は、医療機関の受診が必要になります。

(裏面に続く)

各ワクチンの主な副反応等について(各社の添付文書より厚生労働省が作成)

ワクチン 種類	ワクチン販売名 (メーカー名)	症状の出現割合		
		50%以上	10～50%	1～10%
m R N A ワ ク チ ン	コミナティ® (ファイザー社)	接種部位の痛み、疲労、頭痛	筋肉痛、悪寒、関節痛、発熱、下痢、接種部位の腫れ	接種部位の赤み、リンパ節の腫れや痛み、嘔吐、疼痛
	スパイクバックス® (モデルナ・ ジャパン社)	接種部位の痛み、疲労、頭痛	筋肉痛、悪寒、関節痛、吐気・嘔吐、リンパ節の腫れや痛み、発熱、接種部位の腫れ・しこり・発赤	接種後7日以降の接種部位の痛み・腫れ・赤み
	ダイチロナ® (第一三共社)	接種部位の痛み、倦怠感	接種部位の熱感・腫れ・赤み・かゆみ・しこり、頭痛、発熱、筋肉痛	接種後7日以降の接種部位の赤み・腫れ・かゆみ・熱感・しこり・痛み、リンパ節の腫れや痛み、発疹、わきの痛み
組換え タンパク ワクチン	ヌバキソビッド® (武田薬品工業社)	接種部位の痛み、疲労、筋肉痛、頭痛	倦怠感、関節痛、吐気・嘔吐	接種部位の腫れ・しこり・赤み、発熱、四肢痛
mRNA ワクチン (レプリコ)	コスタイベ® (Meiji Seika フェルマ社)	接種部位の痛み	倦怠感、頭痛、悪寒、筋肉痛、関節痛、発熱、めまい、接種部位の腫れ・しこり・赤み	接種部位のかゆみ、下痢、吐気・嘔吐

(6) 予防接種健康被害救済制度について

予防接種法に基づく予防接種を受けた方に健康被害が生じた場合、その健康被害が接種を受けたことによるものであると厚生労働大臣が認定した時は、市町村により給付が行われます。

申請に必要な手続き等については、予防接種法を受けた時に住民票を登録していた市町村にご相談ください。

※詳細については、厚生労働省ホームページにも掲載しています。

(7) 新型コロナウイルスワクチンに関する問い合わせ先

・接種手続き、対象者等について…坂町保険健康課

☎082-820-1504(平日 8:30～17:30)

・接種後の副反応等について ……広島県新型コロナウイルスワクチン副反応相談窓口

☎082-513-2847(平日 8:30～17:15(12:00～13:00は対応時間外))

・ワクチン施策のあり方等 ……厚生労働省 感染症・予防接種相談窓口

☎0120-995-956(平日9:00～17:00(土日祝日、年末年始を除く))

参考: B類疾病予防接種ガイドライン(2025年度版((発行)公益財団法人予防接種リサーチセンター)
厚生労働省ホームページ(新型コロナワクチンQ&A)